

4. 外国にルーツを持つ児童生徒への支援

次長 梓

・大阪市教育委員会や地域との連携

昨年度、大阪市教育委員会との共催で「日本語指導研修会」が実現しました。

今後も、内外に対し、外国にルーツを持つ児童生徒が多い区であること、そのための支援が必要であることを訴えていくことが重要です。そのためにも、区の実態を正確に把握し、市教委・国等と共有することが大切です。

例年6月末ごろに教育委員会より照会される「日本語指導状況等に関する調査」について、正確な回答をお願いします。

学習言語の習得が不十分な児童生徒を照会対象としています。

(日常生活に支障がなくても、学習になるとわからなくなる児童生徒も計上してください。

特に理科や社会などの学習につまずく場合が多いと聞いています)

今後も市教委・地域との連携をすすめ、当区の児童生徒への支援を引き出していきたいと考えています。みなさまのご協力をお願いします。